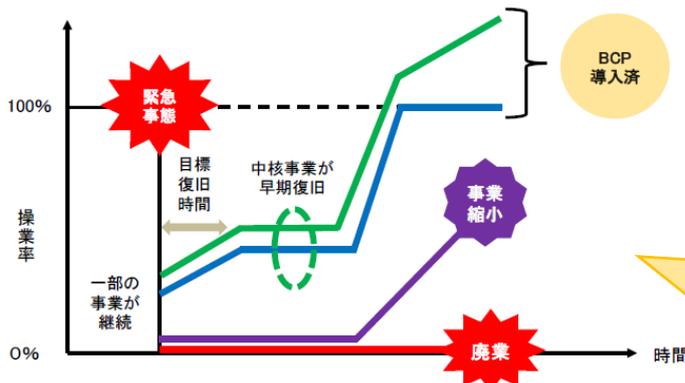


■はじめに

最近では、8月8日の南海トラフ地震臨時情報の発表、8月下旬の台風10号の上陸等、日常生活において防災を意識する機会が増えています。

ぎふ清流GAP評価制度においても今年度の制度改正に伴い、災害等に遭遇した場合の農業生産を維持・継続するための体制や対策を含む計画、いわゆる事業継続計画(BCP: Business Continuity Planning)の策定について農場評価項目の内容に追加されました。このような計画は、事業継続する上で必要不可欠な計画であるといえますので、まだ策定されていない場合は是非とも策定してください。

■トピックス ～事業継続計画(BCP)とは～



BCPとは、自然災害や感染症、大事故等が発生した場合において、中核となる事業の継続・早期復旧を可能とするための方法や手段等を予め取り決めておく計画です。

【BCP効果】

- BCP導入により「被害の抑制」「事業の早期復旧」が可能となる。
- BCP未導入の場合は、「事業縮小」や「廃業」に至る場合もある。

BCP 導入効果のイメージ
 【出典：中小企業庁 HP より抜粋】

BCP 策定の5つのポイント

1 重要事業(業務)を特定する

- ・ 緊急時において、優先して継続・復旧すべき事業を特定
- ・ 緊急時には、利用できる人材や設備や資金が制約されるため、業務を絞り込む

2 復旧する目標時間を考える

- ・ 緊急時において、主要な事業を復旧する目標時間を設定
- ・ 目標達成に向けて行動や対策を明確化

3 取引先と予め相談する

- ・ 優先させる事業やその復旧時間について、取引先等と予め相談
- ・ 緊急時の対応や復旧が円滑に進むだけでなく、顧客等取引先にとっても事前の準備が可能

4 備蓄品や代替策を用意・検討する

- ・ 一定期間の備蓄品(燃料、資材等)の用意や、生産設備、調達等の代替策を検討

5 家族・従業員とBCPの方針や内容について、共通認識を形成する

- ・ 日頃から緊急時における対応を家族や従業員と共有または訓練を実施
- ・ 緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮

■国際水準GAPで重要となる新たな視点

評価項目に追加された内容の紹介(BCP(事業継続計画)) *下線部が追加された内容

全 6.10	<p>○労災保険(労働者災害補償保険)や傷害共済等の任意保険に加入している。</p> <p><u>○災害等に農業生産を維持・継続するための体制や対策を含む計画が策定されている。</u></p>
--------	--



災害等に農業生産を維持・継続するための体制や対策を含む計画を策定する際の考え方について教えてください。
また、具体的にどのような計画を策定すればいいのでしょうか？

災害等の事前の備えとしてリスクマネジメントがあり、その延長線上に災害等が発生した後の立て直し(=BCP)があります。

防災計画により生命と財産の安全を確保した上で、BCPが実行されることで可能な限り早く農業生産を再開させることが可能になります。具体的なBCPの内容については、農林水産省HPに農業版BCPのチェックリストやフォーマットが掲載されていますので、参考にしてください。



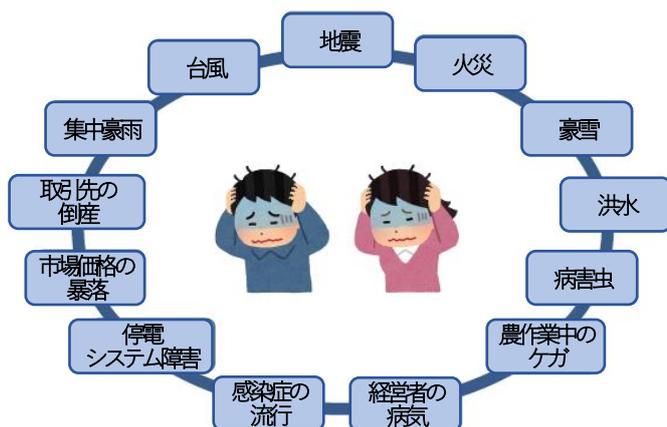
農業版 BCP
【農水省 HP】



<考え方> 農業経営を取り巻くリスク要因とBCP策定の手順

農業におけるBCP策定では、自然災害の他、病虫害の大発生や農作業中のケガ、感染症の拡大、市場価格の暴落等、想定されるリスク要因はたくさんあります。緊急事態に遭遇しても廃業・事業縮小にならないための備えが重要となります。

日頃から、農場の危険箇所の把握と対策、従業員への安全確保対策、地域内の協力体制整備等の事前対策を行い、BCPで事後対策を具体的に決めておきましょう。



農業版 BCP 策定の手順

緊急事態に「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」といった限られた経営資源をどう活用するかが重要

①緊急時を想定し、農場のリスクを見える化

②リスクに対する事前対策を実施

③災害後の立て直しを計画(BCP)
(復興を契機にピンチをチャンスに変える)

■「ぎふ清流GAP評価制度」に関する情報

Webサイト 検索 [ぎふ清流GAP \(岐阜県公式ホームページ\)](#)
制度の概要(要領・要綱の閲覧)、申請様式等のダウンロード、認証農場の紹介



■「ぎふ清流GAP通信」に関するお問い合わせ

(一社)岐阜県農畜産公社 [ぎふ清流GAP推進センター](#)
電話:058-216-1566 FAX:058-216-1567 Eメール:gifu-gap@gifu-notiku.com